

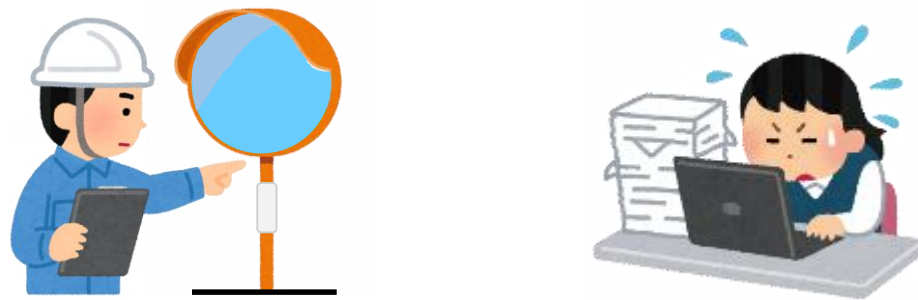
第1弾！

「道路反射鏡 A I 健全度診断」プロジェクト

Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

道路施設維持管理の課題

点検に多大な時間・労力・費用
対象の施設数が非常に多く、点検作業、
調書作成等の実務や費用の負担が課題



客観的な評価が困難
判定基準はあるが、点検者の主観が
入りやすくバラつきがある



解決策

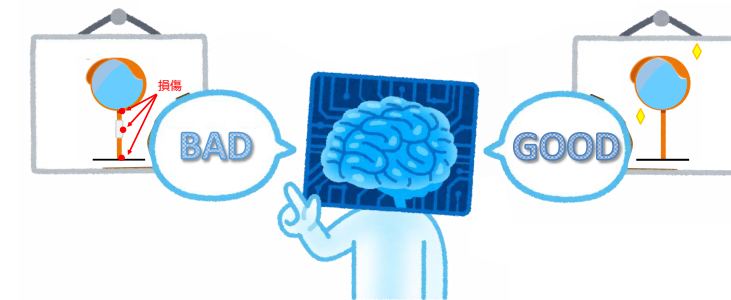
点検作業の効率化

A I を点検に用いることで、点検作業
の効率化及び費用の削減



客観的な評価が可能

A I による、主観が入らずバラつきの
ない判定が可能



「道路反射鏡 A I 健全度診断」プロジェクト



- AI活用した道路附属物（カーブミラー等）の健全度診断システムの本格運用は『**全国初！**』
- 道路反射鏡（カーブミラー：市内約1万基）を**スマホやタブレットで撮影するだけで、A I が健全度を診断し、結果を電子台帳に自動登録**
- スタートアップとの共同で開発を行ったシステム
- A I による診断で、**誰が点検しても熟練技術者とそん色ない精度**



「道路反射鏡 A I 健全度診断」プロジェクト

**Kitakyushu
Action!**
動かせ、未来。北九州市

A I 診断の概要



「道路反射鏡 A I 健全度診断」プロジェクト



導入による効果

■ 業務効率化：作業時間（現地調査、台帳作成）

640時間／年 → 340時間／年 （約47%削減）

■ 費用削減：点検コスト

1,500万円／年 → 800万円／年 （約47%削減）
（点検費＋台帳作成費） （点検費＋システム保守・運用費）

今後の予定

○ U I の改良（使い勝手の更なる向上）

○ 他の施設への横展開（照明灯、標識支柱、他の公共施設等）